

プレスリリース
2025 年 10 月 10 日

報道関係各位

国立印刷局の工芸官による特別講義を 10/17（金）開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～

京都市立芸術大学

Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —



国立印刷局
National Printing Bureau

国立印刷局は、2025年10月17日（金）に京都市立芸術大学（所在地：京都府京都市/学長：小山田 徹）にて国立印刷局の工芸官による京都市立芸術大学及び関西芸術系大学の学生対象の特別講義を開催します（主催：京都市立芸術大学美術学部）。本特別講義の開催は2024年に続き2回目となり、今回は、工芸官が凹版彫刻に使用しているビュラン作製からの特別講義です。

【開催詳細】

日時：2025年10月17日（金）

10:00-10:30 特別講義「国立印刷局の事業案内」

10:30-12:00 制作物 「国立印刷局のビュラン作製」（工芸官が学生にビュラン作製の実技指導）

13:00-13:30 凹版彫刻の実演（工芸官によるエングレーヴィングの実演）

13:30-16:00 凹版彫刻の実技指導（工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導）

受講対象：京都市立芸術大学、京都芸術大学、京都精華大学、大阪芸術大学
嵯峨芸術大学、成安造形大学の学生

場 所：京都市立芸術大学（京都府京都市下京区下之町57-1）

E棟・講義室14（午前・1階）及び凹版室（午後・3階）

アクセス：

地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅から徒歩6分（A棟まで）

京阪電車「七条」駅から徒歩6分（I棟まで）

市バス 4、7、16、81、205、南5号系統「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



特別講義の様子（2024年6月実施）



【取材のポイント】

これまであまり外部に出ることのなかった国立印刷局のビュラン彫刻技術の特別講義について取材ができます。通常はメディアに顔を出さない工芸官*が、実際に学生へ向けてその知識や知見の一端を説明しながら解説する特別講義です。

*工芸官の顔の撮影は禁止となっております。また、氏名等も公表できませんので予めご了承ください。

*工芸官の習作品の撮影は禁止となっておりますので、予めご了承ください。

*特別講義の進行を中断するような取材撮影は、ご遠慮ください。

【取材対応】

取材を希望される場合は、以下のフォームから事前にお申し込みください（10月14日（火）16:00まで）。

<https://forms.gle/TZ27u2cEfCKgJb9g8>



2次元コード

取材を申し込む際には、国立印刷局 HP から取材申請書、取材内容（質問事項）の提出をお願いします。

なお、事前申し込み日を過ぎた後の取材はお受けできませんので、ご理解をお願いします。

取材の申込のあった方に、集合場所等や連絡事項をお伝えします。

また、特別講義における申し込み各社に対して、国立印刷局広報官室より事前レク（資料配布あり）を行いますので、予めご承知おきます。

国立印刷局より

国立印刷局工芸官の特別講義は、国内の芸術系・美術系大学において、専門の技術者である「工芸官」の技巧に関する講義を実施するなど、日本の文化芸術の振興に寄与した功績が認められ、令和6年度「文化庁長官特別表彰」を受賞したものです。「文化庁長官特別表彰」は、文化活動に優れた成果を示し、我が国の文化の振興に貢献された方々、又は、日本文化の海外発信、国際文化交流に貢献された方々のうち、発信力の高い方や団体に対し、その功績をたたえ文化庁長官から表彰するものです。なお、今回の国立印刷局への表彰は、平成元年（1989年）に創設された「文化庁長官表彰」を含め、府省庁・独立行政法人等の国の機関としては初めて文化庁長官から授与されたものです。

【概 要】

国立印刷局は、日本銀行券の製造をはじめ、官報、パスポートなど国民生活に密着した製品を製造している組織です。当法人は、明治4年（1871年）に大蔵省紙幣司として創設され、国民の皆様からの「信頼」に支えられ、令和3年に創立150年を迎えました。国立印刷局には、高度なアートの力（芸術性と技能）を有した「工芸官」と呼ばれる専門職員が在籍しており、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券やパスポート等のデザインや原版製造は、「工芸官」が担っております。

国立印刷局では、令和4年度から国内の芸術系・美術系大学の学生を対象として、高度なアートの力（芸術性と技能）を有した工芸官の高い技術と細密な彫刻を次世代に伝え、継承することが、文化・教育活動の一助に繋がるものとして、講義を開始しました。令和4年度には2大学、令和5年度には6大学、令和6年度においては4大学と1専門学校で開催し、美術や芸術を学ぶ学生のキャリアプランの可能性と選択肢を提供する機会として実施しております。

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在でも工芸官による手仕事の中核をなしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義は、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

このような取組は、日本銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報として、日本の伝統文化が独自性のある産業として結実した姿を外部に発信するとともに、国立印刷局におけるモノづくりが古来から続く日本文化及び伝統技能の確認、継承の場となっていること、また、工芸官のアートの質の高さが製造する製品の偽造防止技術の基盤となっていることから、国立印刷局が長年培ってきた工芸官の高い技術を国民の皆様知って頂くことを目的とした、社会貢献活動の一環でもあります。

担当教員 京都市立芸術大学美術学部 大西 伸明 教授のコメント

京都市立芸術大学は創立 140 周年を超える日本で最も長い歴史を持つ芸術系の大学であり、独創的で多様な研究を背景に、学部や学年を超えた横断的な教育プログラムと、専門的かつ横断的な専門教育を通して、優れた芸術家や独創的な人材を生み出す教育を行っています。2023 年にはテラス構想を掲げ、異なる世代や異なる関心を持つ人々が集まる市民に開かれた大学を目指して京都市中心部に移転いたしました。

2024 年度には、国立印刷局との協働で特別講義が行われ、最も古い凹版技法であり、非常に高度な技術を要するエングレーヴィングという技法の実演および実技指導により、参加した学生や教員含め大きな反響がありました。本年度二回目の特別講義では、制作に使用するビュランという道具を制作し、さらに彫刻凹版の研究を深めることになります。高度な技法を研究することは、閉じられた難解な世界に留まることなく、井戸を掘り下げて地下水脈に当たるかのように、開かれた世界や多様な考え方に繋がる研究です。日々の研鑽に裏打ちされた高度な技術の先にある、多様性につながる芸術の持つ本質的な部分、それらを共有し、テラス構想のように専門性から横断性へ繋がり、「描く」という概念が変わるような機会になることを期待しています。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

京都市立芸術大学 広報センター

(取材のお問い合わせはこちらにお願いいたします)

Tel.075-585-2006／E-mail : public@kcua.ac.jp

〈工芸官に関するお問い合わせ先〉

国立印刷局広報官室

Tel.03-3587-4210／E-mail : proffice@npb.go.jp